

I. 広東省

1 「開四停四」開始後初の平日ラッシュ時で渋滞指数が約1%減

● 2日、「開四停四」開始後初の平日で、当日の通勤ラッシュ時の中心地5区（天河、越秀、荔湾、海珠、白雲）の渋滞指数は前週月曜日の5.88から5.82となった。先月の第一月曜日の6.71と比べると13.3%減少した（3日付「南方日報」8面）。

※渋滞指数は、0～2が「基本的に渋滞なし」、2～4が「わずかな渋滞あり」、4～6が「一部の環状道路、主要道路が渋滞」、6～8が「大部分の環状道路、主要道路が渋滞」、8～10が「市内大部分の道路が渋滞」となっている。

2 第4回中国・イスラエル科学技術イノベーション投資大会が閉幕

● 2日～3日、第4回中国・イスラエル科学技術イノベーション投資大会が珠海で開催された。イスラエル高度科学技術産業協会、イスラエル・メーカーズ協会、アリババ等2,400以上の企業、5,800名を超えるゲストが珠海に集まり、のべ1.1万人が参加した（5日付「南方日報」7面）。

3 広東省の2,277の貧困村に「AI医師」を配置

● 7月4日、広東省インターネット+医療健康計画が正式に始動し、同時にインターネット+健康貧困扶助AI医師全村開通プロジェクトも始動されまず清遠市陽山県の55の貧困村の村医にAI医師が配備された。現在、AI医師は200以上の一般的な病気を看ることができ、そのレベルは中級レベル以上の臨床主治医に比肩できる（5日付「南方日報」6面）。

4 山東省党政府代表団が広東省を視察

● 5日～6日、山東省党・政府代表団が広東省を訪れ視察・交流を行った。5日午後、両省は広州市で座談会を行い、協力の深化について協議した。李希・広東省書記が主宰・挨拶をし、劉家義・山東省書記も出席・挨拶をし、馬興瑞・広東省長、龔正・山東省長がそれぞれ各省の経済・社会の発展状況について紹介した。李玉妹・広東省人代常務委員会主任も会議に参加した。広東省滞在期間中、山東省党・政府代表団一行は、広州市と深セン市を訪れ、琶洲インターネット・イノベーションエリア、広州金融センター、前海蛇口自由貿易小区、深セン湾起業広場及び中国科学院深セン先進技術研究院、ファーウェイ等で都市建設、イノベーションによる推進、対外開放、生態環境の保護等の状況について詳細に把握した。任学鋒・広東省副書記兼広州市書記、王偉中・深セン市書記、林少春・広東省副省長、江凌・省党秘書長、黄寧生・広東省副省長、温国輝・広州市長、陳如桂・深セン市長、張江汀・青島市書記、王清憲・山東省党常務委員兼秘書長、王忠林・山東省党常

務委員兼済南市書記，王書堅・山東省副省長も関連する活動に参加した（7日付「南方日報」1，2面）。

II. 広州市

1 広州—チェンマイ間の直行便が就航

●1日，春秋航空が広州—チェンマイ間の直行便を正式に就航させた。フライトは毎週火曜日，金曜日，日曜日となっている。これにより広州からタイへの便は1日25便となる（4日付「広州日報」16面）。

III. 深セン市

1 陳如桂・深セン市長が江丙坤・台湾海峡兩岸經濟貿易交流會長一行と会見

●3日昼，陳如桂・深セン市長が江丙坤・台湾海貿會長（元国民党副主席，海峡交流基金會董事長等）一行と会見し，陳・市長は深センと台湾の実務的な協力を更に深めたいと述べ，江會長は經濟や文化など多くの領域で深センとの交流・協力を深めたいと述べた。会見には林潔・深セン市党常務委員兼統一戰線部長，李延忠・深セン市政府秘書長も会見に同席した（4日付「深セン日報」1面）。

2 湖北省代表團が深セン市を視察

●6日，陳安麗・湖北省副省長一行が深センを視察し，深センによる科学技術のイノベーションと成果の応用を高く評価するとともに，深センの先進的な経験とモデルを学び，両地の交流・協力を強めたいと述べた。王立新・深セン市副市長が会談に出席した。陳安麗・副省長一行はファーウェイ，テンセント，柔宇科技有限公司（ROYOLE），大族激光科技産業（ハンズ・レーザー）等を視察するとともに，企業の發展と製品に関する説明を聴取した（7日付「深セン特区報」2面）。

IV. 福建省

1 1～5月の福建省の一帶一路沿線国家との貿易が大幅増

●アモイ税関の統計によれば，1～5月の福建省の一帶一路沿線国家との貿易額は1,614.1億元で前年同期比16.8%増となった。これは福建省の對外貿易総額の32.9%を占める。そのうち，輸出は926.2億元で前年同期比8.2%増，輸入は687.9億元で前年同期比30.9%増となった（2日付「福建日報」3面）。

V. 広西チワン族自治区

1 南寧市が「ゾンビ企業」6,514社を整理

●南寧市工商局によると、去年10月から、工商局と税務部門は合同で「ゾンビ企業」の整理を行い、6,514社を整理した（5日付「広西日報」2面）。

VI. 海南省

1 海南大学ビッグデータ・AIサミットフォーラムが開幕

●2018年海南大学ビッグデータ・AIサミットフォーラムが1日午前海口市で開幕した。海南大学が主宰し、ファーウェイ、泰克教育グループ、海南省インターネット人材育成イノベーション連盟が開催を請け負った。式典では、海南大学、ファーウェイ、泰克教育グループが三者による協力協定に署名し、ICT技術、ビッグデータ、AI、教育分野での蓄積に基づいて、深く長期にわたる多次元での深い協力関係を打ち立てていくことを約束した。同日、海南大学ビッグデータ・AI研究院が設立された（2日付「海南日報」3面）。

2 2020年までに自動車の並行輸入1万台以上を目標とする

●海南省政府弁公庁は最近「海口港自動車並行輸入テスト・ポイント実施案」を発出し、海口港を自動車の並行輸入の試験地とし、テスト企業を選抜して、同企業に主体的な役割を充分発揮させ2020年までに自動車の並行輸入が、1万台を突破し、販売額も70億元突破を目指す（6日付「海南日報」1面）。